

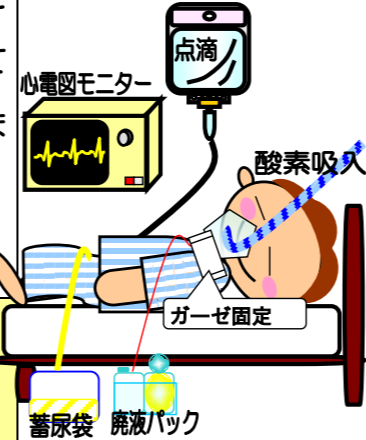
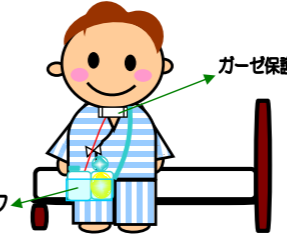



















入院診療計画書(甲状腺葉切除術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID 病名(他に考える病名) 担当医師 @USERNAME 病棟 @PATIENTROOM 号室
 @PATIENTNAME 様 症状 担当看護師 担当薬剤師 @SYSDATE

月日	入院日(/)	手術前日(/)	手術日(/)		術後1日目(/)	術後2日目(/)	術後3~5日	退院日(/)
			術前	術後				
経過	手術へむけて準備を行います。	術前準備を行います。	()時に手術室へ移動します。	術後は病棟に戻ります。		注意事項を守りながら、少しずつ日常生活のリズムを戻していきましょう。		退院
目標		手術に対する不安をコントロールできる。	手術に対する不安をコントロールでき、手術に臨める。	術後の痛みをコントロールできる。	術後の注意点を理解できる。	術後の注意点を守ることができる。		退院を受け入れ、生活上の注意点を理解できる。
検査	採血・採尿・心電図・呼吸機能検査・レントゲン・超音波検査・CT・核医学検査 ※外来で受けた検査に関しては、基本的に再検査しません。			(レントゲン)	採血			退院後、外来では定期的に採血があります。
処置	リストバンドを付けさせて下さい。 	腕に、マジックで名前と血液型を記入します。 	入れ歯めがね、時計、ヘアピン、指輪を外してください。化粧やマニキュアも落として下さい。髪の長い方は、ヘアゴムでまとめして下さい。ATストッキングを装着します(前日にサイズを測定し、お渡しします。) 点滴前に排尿をすませ、病衣に着替えてください。 手術が午前...手術室で点滴 手術が午後...10時に点滴をします。 	酸素が終了になります。心電図モニターも外します。点滴・尿管も抜きます。 	回診時に、抜糸します。 排液量が少なくなったら、ドレージンも抜きます。 かさぶたをムリにはがさないで下さい。 ガーゼも外します。傷を強くこすらないで下さい。 このテープは自然にはがれるまではがさないで下さい。 内服の管理方法は、体調を考え、スタッフと相談してきめましょう。 飲み込むときのひきつれる感じは徐々に治ります。 アルファロールを内服している方は、カルシウムの多い食品を取るよう心がけてください。例えば……牛乳・小魚・ひじき・ゴマ・小松菜・桜えび・チーズ・ヨーグルト…など	傷口が気になるようであれば、ハイネックやマフラーなどで工夫してみてください。 朝飲み忘れた場合、昼か夜に必ず決められた量を内服し		
注射	基本的に、点滴はありません。							
内服	常用しているお薬を確認させてください。 	希望があれば安眠剤を使用できます。早めにご相談下さい。 	持参薬を確認の上お知らせします。	痛みや吐気がある時はお薬が使えます	内服開始...抗生物質・漢方薬・甲状腺ホルモンの薬など			
食事	制限はありません。 		時~食べられません 時~食べたり飲んだりできません 	のどが潤いたときは、ガーゼで唇を湿らせることができます。	むせり・吐き気なく水分摂取できるか確認します。 食事開始  昼は五分粥(水曜日は麺) 夕から全粥			
清潔	術前、制限はありません。 	入浴可 	病棟から離れるときは、必ずスタッフに声をかけてください。 	ベッド上安静 術直後は、首を動かさないでください。横を向きたい時は看護師を呼んで下さい。手足や舌のしびれが出た時	抜糸前、清拭をお手伝いします。 	抜糸され、ドレージンが抜いたらシャワー浴可能です。キズはこすらず流すだけにしてください。自宅に帰り入浴時は、傷のあたりまで浸かるようにしましょう。 		
行動	院内フリー歩行可 				病棟内フリー 初めて歩行する時は、看護師が付き添います。 	院内フリー 		
説明	病棟をご案内します。手術のオリエンテーションをします。 	麻酔科医師の診察があります。手術室看護師の訪問があります。	ご心配かとは思いますが、患者様が手術されている間、お部屋から6階のロビーでお待ちください。 ご家族の方へ... 		歩く時は廃液パックを携帯してください。 	動悸、倦怠感、手指や唇のしびれ、息苦しさが強いときは、次回受診日を待たずに、ご相談下さい。 		

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性 有

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名: 続柄: